

身近なことから取り組もう

守ろう ふるさと匠瑛

私たちの「ふるさと匠瑛」にあふれる緑——。少し見渡せば、心を和ませ、どこか懐かしさを感じる里山や、季節の美しい花々と触れ合える場所が数多く存在します。6月は身近な環境について考える「環境月間」です。この機会に、環境保全に対する関心を深め、自分たちの生活を見直してみましょつ。

問環境生活課環境班 ☎ 73・0088

匠瑛の自然を未来へ

市内には水田や畑、里山など多くの緑があり、古くから私たちの暮らしを温かく見守ってくれています。

豊かな自然と共生し、この景色を未来の子どもたちに残せるよう、市民一人ひとりが普段の生活からできることを考えていきましょう。

買い物をするときは、人や環境に優しいものを選んだり、クールビズなどを取り入れて省エネに取り組んでみたり、身近なことから始めてみませんか。

ごみを作らない努力がごみを減らします

日常から取り組める行動の一つに、「ごみを減らす」ことがあります。

「ごみの発生抑制(リデュース)」「再利用(リユース)」「再生利用(リサイクル)」の英文の頭文字を取った「3R(スリー

アール)」は、一度は耳にしたことのあるフレーズでしょう。

ごみの減量化のためには一人ひとりの工夫と努力が欠かせません。買い物にはマイバッグを持参したり、不要になったものは人に譲ったりするなど自分たちの暮らしをもう一度見直し、限りある資源を有効活用するこ



市で行う資源物無料回収では、さまざまな資源ごみが回収される

ご活用ください

環境保全に役立つ 助成制度

市では、ごみの減量化や再資源化、水質保全など環境に配慮した取り組みの推進に各種助成制度を設けています。身近に取り組める環境保全活動の一つとして、ぜひご活用ください。

☎環境生活課環境班 ☎73-0088

資源ごみの集団回収事業を奨励

自治会や子ども会、町内会などが行う、家庭から出る資源ごみを回収して、リサイクル業者に引き渡す活動に対して奨励金を交付します。

奨励金の額

資源ごみ 1kgあたり5円以内（上限額は一事業年度20万円）
※奨励金を受けるには、活動前に団体登録の手続きが必要です。



生ごみ処理機などの購入費補助

家庭用生ごみ処理機または生ごみ堆肥化容器（コンポスト）を市内販売店で購入した場合に、補助金を交付しています。

補助金の額

家庭用生ごみ処理機…購入金額の3分の1（上限額は2万円）。1世帯1基まで
生ごみ堆肥化容器…購入金額の2分の1（上限額は1基につき2000円）。1世帯2基まで



合併処理浄化槽の設置補助

住宅などに合併処理浄化槽を設置する場合に補助金を交付しています。

補助金の額

住宅の新築・建て替え…12万円
既存の単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽に付け替え…61万2000円～82万8000円（条件により異なる）
※いずれも対象人槽は5人～10人槽で、工事前に申請が必要です。



安久山の庭園にある、県下一の幹回りを誇る大シイの木（写真上）とNHK「映像に残したい日本の里山100選」で紹介された里山（写真右）

とて環境への影響を減らすことができます。

土地の清潔を保ちましょう

空き地などを雑草が生い茂った状態で放置すると、ごみの不法投棄の温床となったり、たばこのポイ捨てによる火災の原因につながったりし、生活環境が著しく損なわれる可能性があります。また、個人の土地にごみが捨てられても、それを捨てた人が分からない場合は、その土地の所有者が撤去しなければいけません。

「自分の土地を守るのは自分です。土地所有者（管理者）は被害に遭わないためにも、適正に管理しましょう。」

被害に遭わないために

小まめに草刈りをして見通しの利く状態にしておき、さらに不法進入を防止する柵や、不法投棄の禁止を呼び掛ける看板を設置すると効果的です。また、定期的に見回りをし、常に土地の状態を把握することも大切です。

不審な現場は通報を

工事現場でもないのに重機で

穴を掘っていたり、早朝や深夜に見掛けないトラックが出入りしたりしている場合は、不法行為が行われている可能性があります。不審な現場を見掛けられたら次の連絡先までお知らせください。

《連絡先》

- 海匠地域振興事務所地域環境保全課 ☎64・2825
- 市役所環境生活課 ☎73・0088
- 産廃残土県民ダイヤル ☎043・223・3801（夜間・休日の緊急連絡先）